



株式会社ピエクレックスとサステナビリティパートナー契約を締結

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)を運営するホンダモビリティランド株式会社(本社：三重県鈴鹿市、代表取締役社長：斎藤毅)と、株式会社村田製作所の完全子会社である株式会社ピエクレックス(本社：滋賀県野洲市、代表取締役社長：玉倉大次)は、7月1日(火)に、「鈴鹿サーキットサステナビリティパートナー契約」を締結しました。鈴鹿サーキットにおいて、株式会社ピエクレックスが推進するアパレルの循環インフラ「P-FACTS」(ピーファクツ)と連携し、カーボンニュートラルかつ持続可能な運営の実現に共同で取り組んでまいります。

ホンダモビリティランドは、サステナビリティ基本方針として「モビリティ文化の醸成とモータースポーツ振興、人材育成の実践フィールドを活かして、地球環境や社会課題への対応に取り組み、持続可能な未来づくりに貢献」することを掲げています。その上で、クリーンエネルギーの活用拡大や廃棄物の発生抑制とリサイクル促進により、温室効果ガスの削減を推進し、主要なモータースポーツイベントにおけるカーボンニュートラルの実現を目指しています。鈴鹿サーキットが推進してきた持続可能な未来づくりに向けた環境マネジメントシステムは、国際自動車連盟(FIA)環境認証プログラムの最高位となる3つ星を獲得しました。

本取り組みの第一弾として、2025年8月1日(金)～3日(日)に開催される「コカ・コーラ 鈴鹿8時間耐久ロードレース」において、株式会社ピエクレックスが推進するアパレルの循環インフラ「P-FACTS」(ピーファクツ)に対応したスタッフウェアを提供いただきます。大会終了後は、P-FACTSの仕組みを活用し、回収・分別・堆肥化し、堆肥を鈴鹿サーキット内の緑化や植栽、周辺地域の農業等に活用することで、新たな「循環」の創造を目指します。また、P-FACTS対応素材の使用により、CO₂排出量の削減も図ります。



■「P-FACTS」(ピーファクツ)について

「P-FACTS」(ピーファクツ：PIECLEX FABrics Composting Technology Solution) は、ピエクレックス社が植物由来のポリ乳酸素材「電気の繊維」ピエクレックスを使用したアパレル製品や繊維製品を回収し、堆肥化までを一貫して行う循環インフラです。多くのパートナー企業、自治体、福祉施設、学校法人などのステークホルダーと連携し、既に運用が始まっています。

この循環インフラは、地域で使用された製品を地域で再利用する「地着地消地循」の考えに基づき、消費者が簡単に参加できる持続可能なファッション社会の実現を目指しています。「P-FACTS」に対応する製品には、「堆肥化し新しい植物を育む」ことを保証するP-FACTS認証マークが付与されており、環境にやさしい選択肢が提供されています。

